

# 人権まちづくり新聞



第25号  
編集発行  
枚方人権  
まちづくり協会

## 多様な人々がともに生きる社会をめざして

### 水平社博物館で現地研修

枚方人権まちづくり協会は、十月七日、今年三月にリニューアルオープンした奈良県御所市の水平社博物館で現地研修を行い、四十人の参加がありました。

一行は、途中のバス内で事前学習。近年研究が進んでいる「被差別部落形成の過程」や明治維新後の一八七一年のいわゆる「解放令」（賤称廃止令）から水平社

創立までの解放運動の歴史を学習しました。到着した博物館では、まずスタッフから説明を受けたあと、二班に分かれて館内の展示を見て回りました。また、案内を待つ間に博物館の向かいにある水平社宣言の起草者、西光万吉さんの生家である西光寺を見に行かれる方もありました。

途中で柿の葉寿司入りの昼食を取ったり、帰路では道の駅で買い物をしたりと、楽しく多くのことを学んだ一日でした。

途中で柿の葉寿司入りの昼食を取ったり、帰路では道の駅で買い物したりと、楽しく多くのことを学んだ一日でした。



館内の展示は全国水平社の始動から創立、広がりへと時代を追って説明されており、最後にスタッフの方が「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という水平社宣言の結語に触れ「私たちは、部落解放だけでなく、すべての多様な人々が共に生きる社会をめざしている」と言われたことが印象的でした。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる障害者差別解消法）の第8条には、「事業

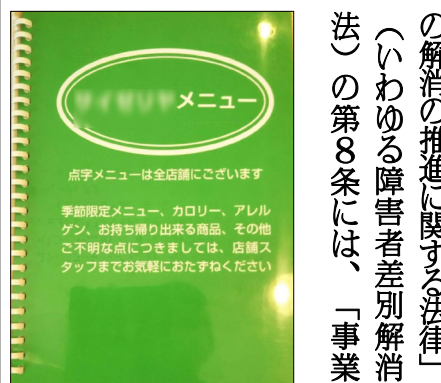
者は、その事業を行うに当たり、障害を理由として障害者でない者と不当な差別的取扱いをすることにより、障害者の権利利益を侵害してはならない」と定められています。

今後、このような店舗が増えて、障がいがあっても健常者と同じように食事や飲食ができる街、枚方になってほしいですね。

#### ◆シリーズ◆ 人権な街角

### 視覚障がい者に配慮したレストラン

することを事業者に求めているのです。そのような中、市内のファミリーレストランなどで、「点字メニュー」（写真）が置かれているところがあります。視覚障がいの方が、自分で「どのようなものが食べられるのか」を確かめて注文できるので、



枚方人権まちづくり協会の相談事業

<p>〈人権まちづくり協会〉 サンプラザ1号館5F TEL 072-844-8788</p> <p>【人権なんでも相談】 月・水・木・金 9:00 - 17:30 (第1水曜・第4木曜は 12:45~17:30) 火曜 12:45~20:00 第3土曜 9:00~12:00</p> <p>【地域就労支援相談】※ 月~水・金 9:00 - 17:30</p> <p>【進路選択支援相談】※ 火13:00 - 17:00 18:00 - 20:00</p>	<p>〈男女共生フロア・ウィル〉 サンプラザ3号館4F TEL 072-843-5636</p> <p>■女性のための相談 【電話相談】 火15:00 - 20:00 水13:00 - 17:00 木10:00 - 15:00 専用電話072-843-7860</p> <p>【面接相談】※ 水13:00 - 16:10 木14:50 - 19:30 金10:00 - 15:00</p> <p>【法律相談】※ 第1土・第4火10:20-12:50 第2金 13:20 - 15:50 第3木 17:20 - 19:50</p> <p>■男性のための電話相談 第1土 14:00 - 17:00 第4木 18:00 - 20:00 専用電話072-843-5730</p>
---	--

※の相談は予約が必ず必要です。それぞれの施設に電話で予約してください。

# 人権週間事業 サヘル・ローズさん講演会

## 「個々の中に人権の種まきを」

十二月八日、枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにおいて、サヘル・ローズさんの講演会を開催しました。

十二月八日、枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにおいて、サヘル・ローズさんの講演会を開催しました。

初めて「疲れた」と言い、私が「死にたい」と言う、「死んでもいい。私も一緒に往く」と言いました。そのことで、私は自分の苦しい感情を隠していたことに気づき、「頑張るのではなく立ち止まる。泣けるのは生きていくということだ」と気づきました。その時か

初めて「疲れた」と言い、私が「死にたい」と言う、「死んでもいい。私も一緒に往く」と言いました。そのことで、私は自分の苦しい感情を隠していたことに気づき、「頑張るのではなく立ち止まる。泣けるのは生きていくということだ」と気づきました。その時か

多くの参加者から「感動した」「また来てほしい」等の感想を頂きました。



サヘル・ローズさんはイラン・イラク戦争のさなかに家族を失い、本名も出生地もわからず、4歳で児童養護施設に入所しました。7歳の時にフローラ・ジャスミンさんと養子縁組をし、8歳で養母と共に来日しました。現在は芸能活動をするとともに、公私にわたり福祉活動もされ、二〇二〇年にアメリカで人権活動家

中学生になっていじめにも遭いました。言葉の暴力に苦しみました。養母に話すこともできず、良い娘でいる自分に苦しくなり、自死を考え、家に戻ると養母が泣いていました。養母は



十一月二十四日に、NPO法人DXPを立ち上げ若者支援を行っておられる今井紀明さんの講演会を開催しました。「ひとりのひとりの若者が自分の未来に希望

### 人権文化セミナー「孤立からつながりへ」

の持てる社会の実現」をめぐり、不登校、中退、いじめ、虐待等で孤立しやすい若者にLINE相談「ユキサキチャット」で「出会い」そして「つながる」活動を続けておられます。そして、コロナ禍で、アルバイトの収入が減ったために食事を取れない若者のために食糧支援と現金給付のサポートも始められました。若者は、窓口や電話よりLINE

E等の方が相談しやすいこと、食品や電気代等の値上げで新しいセーフティネット作りが必要であること等サポートする側の課題についても提示していただきました。「子どもの不条理を解決したい」と思いイラクへ渡航した高校生の頃から二十年間変わらぬ気持ちで若者の支援を続けている今井さんのお話を伺い、多くの参加者から「良かった」という感想を頂きました。

## 会員随時募集

枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされるまちへ（年会費1口 1000円から）

NPO法人枚方人権まちづくり協会

TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799